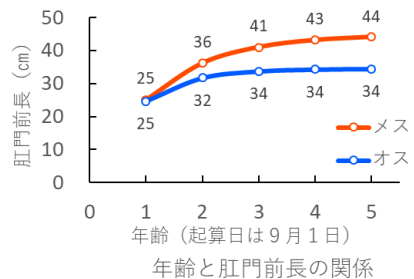


タチウオ

1 生態

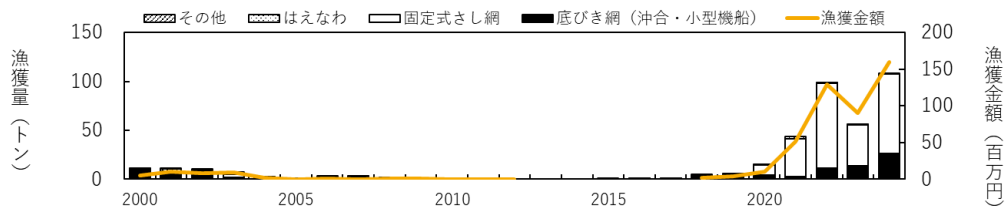
- ・北海道以南の本州沿岸から東シナ海、朝鮮半島西岸および黄海・渤海に広範囲に分布します。
- ・2歳以上でほぼ全ての個体が産卵に関与します。産卵期は7～10月で盛期は9月と考えられます。
- ・生殖腺の発達や卵や稚魚の採集状況から、本県沖でも産卵している可能性が高いと考えられます。
- ・成魚は魚食性が強く、イワシ類やサバ類等を捕食します。

* 仙台湾におけるタチウオの漁獲動向と生物特性（増田ほか2022）により右図を作成



2 漁業に関する情報

- ・主に刺し網、底びき網で周年漁獲されています。
- ・2024年（令和6年）の漁獲量は107トン、金額は160百万円でした。
- ・2011年3月の震災以降、操業自粛により水揚げはありませんでしたが、2015年（平成27年）10月から再開されています。



漁業種類別漁獲量と漁獲金額の推移 * 2013～2017年まで相対取引のため金額データ無

3 資源の状態

- ・資源量の指標となるCPUE（単位努力量あたり漁獲量）等の情報が不足していることから、資源水準や動向は不明です。
- ・漁獲量の推移から、震災以前と比較して近年の資源は高位で増加傾向と考えられます。
- ・近年、福島県沿岸で成熟個体等が確認されていることから、今後、本県沿岸で再生産した個体が漁獲加入に繋がる可能性が考えられます。

4 資源管理の取組み

- ・現在、実施されている取組みはありません。